

## Title: 「海外フィールドワーク引率ブログ」



五十嵐大二

日本写真芸術専門学校  
校二部報道写真科を  
卒業後、フリーラン  
スとしてアフリカの  
撮影を中心に活動を  
開始。

2002年には  
Olympusがスポンサ  
ーとなった「A Day in  
the Life of Africa」プ  
ロジェクトに参加。  
現在、同校講師とし  
て学生を引率しアジ  
ア9カ国をフィール  
ドワーク中。オリン  
パスデジタルカメラ  
を使用。  
写真家樋口健二氏に  
師事。

## ● 最近のエントリー

卒業作品展  
(2007.02.04)

## ● アーカイブ

- ☐ 2008年03月
- ☐ 2007年03月
- ☐ 2007年02月
- ☐ 2007年01月
- ☐ 2006年12月
- ☐ 2006年11月
- ☐ 2006年10月
- ☐ 2006年09月
- ☐ 2006年08月
- ☐ 2006年07月
- ☐ 2006年06月
- ☐ 2006年05月
- ☐ 2006年04月
- ☐ 2006年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

海外フィールドワーク引率ブログ &gt; 2007年02月 アーカイブ

07.02.04

## 卒業作品展

[Tweet](#)

[Check](#)

海外フィールドワークの大谷・谷本・藤野・宮澤・山口奈々子・山口ゆま・安孫子・今泉・中島の合計9名による卒業作品展が2月2日から始まった。

詳細は [http://archive.npi.ac.jp/blog/information/photo/2007/01/post\\_39.html](http://archive.npi.ac.jp/blog/information/photo/2007/01/post_39.html) ご参照

自分は6ヶ月も学生の引率をしていながら、実は、彼らの作品をじっくり見る機会がこれまでほとんどなかった。マレーシアでの2度のスクーリング期間中、最終審査のときに彼らの作品を数分間ざっと見たのが最初で最後だった。帰国後も彼らの授業の受け持ちはなく、フィールドワーク2期生や1年生が担当だった。そのため、遂に彼らの作品を見る機会がなく今に至っていた。

彼らがどのような写真を撮ったのか、2月2日がとても待ち遠しかった。そして初日の午後、何となくそわそわしながら会場に行ってみた。



授業があったため会場に学生はいなかった。でも、大きく引き伸ばされた写真からは、アジアの独特な音と共に学生の姿が目に見えかかってくるような思いがした。プーリー、プーリーとすっかりプーリーが入っていた大谷の写真、自分も行った谷本のムエタイ、安孫子のマーケット、ゆまの象やボルネオ、宮澤のAikoレストラン、山口奈々子の屋上からの風景、藤野の内モンゴル草原の道、今泉と中島の少数民族。自分が撮影現場に居合わせた写真も数点あった。こういう写真を撮っていたのかと、閉館までの2時間、みんなの作品の間をたたく。これほど感慨深い写真展は初めてだった。9人の皆、写真展おめでとう。

でも、これは卒業作品展。一緒にアジアを回った皆があと一ヶ月で卒業していくのは素晴らしいことだが、あの旅が強烈だった分、賑やかだった皆が学校からいなくなってしまうのは寂しい限りだと、ちょっとしみりしてしまった。

カテゴリ:

post by 五十嵐大二 | 日時: 2007.02.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)